

## 柴北川プロジェクト通信 15号

平成22年2月27日(日)

## 1. 「H22年度の竹林対策」を実施

「柴北川を愛する会」との合同会議で話し合われた「平成22年度の山桜調査・視点場整備・竹林伐採等について」のうち、**竹林伐採**を今回行いました。

前日の26日に、共助研の福岡からの参加者6名（波木、木寺、森脇、濱田、武市、武市さんの友人）は、別府の「かんぼの宿」に前乗りし、竹林伐採の入念な打ち合わせをし、現地入りとなりました。今回の天気予報はあまり良くないとなっていましたが、27日（日曜日）は、幸い曇りの朝を迎えました。いつもの集合場所の黒松生活改善センターで、幸野さんと波多野が合流しました。

## 1.1 事前打ち合わせ

センター内でそれぞれ竹林伐採の身支度を行い、「柴北川を愛する会」の方々と本日の作業内容の確認等を行いました。まず作業参加者がそれぞれ自己紹介を行い、その後、共助研の木寺から、作業の内容について、資料収集された「竹林整備ハンドブック」に基づき、本日の作業内容、作業目標？の説明が行われました。事前に「愛する会」の渡邊さんと打ち合わせをしており、**出来る範囲で無理せず頑張る**という作業目標を一同で確認しました。



事前打ち合わせの様子

## ◇竹林対策参加者

「柴北川を愛する会」

大塚会長・渡邊事務局長・足立さん・三浦さん・赤峰さん・渡邊さん（大建設社長） 以上6名

「共助研」

波木・木寺・幸野（大野川流域ネットワーキング）・濱田・森脇・武市・権藤さん（武市さんの友人）・波多野 以上8名

## 竹林整備ハンドブック

— 里山における森林ボランティア活動のために —



— 静岡県 —

## 1.2 いよいよ現場へ

事前打ち合わせの際に、渡邊さんから、松巖寺手前の果樹園の管理について話が出ましたので、竹林の伐採前に確認をしました。秋の収穫祭には、稲刈り以外に、栗拾いもメニューに加えることが可能になるのではと思えるほど立派な果樹園です。

また、今回対策対象とする松巖寺裏の竹林の位置と山桜の位置を松巖寺橋たもとから一同で確認を行いました。



果樹園の様子



竹林対策前の現地確認



松巖寺からの山桜 (H22. 3. 28)

車に分乗した対策部隊のうち、1ボックスは車で行ける所まででしたが、軽トラック2台は、未舗装の林道を果敢に進み、対策対象箇所の直近まで入って行きました。1ボックスを駐車した民家には、梅の木が満開でした。



対策対象箇所へ到着



満開の梅の木

### 1.3 竹林対策を開始

対象箇所の勾配があり、雑木や竹林につかまりながら山桜のまわりに生えている竹林を目指しました。（「愛する会」の方々は早々と登って行ってしまいました。）



登り口を確認



対策箇所を目指して

対象箇所に到着した対策部隊は、前年度の調査時にピンク色のテープを巻きつけた山桜のまわりの竹や雑木をそれぞれ持参したノコギリ等で対策を施しました。



竹林対策中



竹林対策中

ノコギリで、竹と悪戦苦闘していると、軽快にチェーンソーの音が響いています。三浦さんのチェーンソーで、あっという間に山桜のまわりの竹や雑木は切り倒され、山桜のまわりはさっぱりとなりました。やはり、文明の利器を使用すると、人力で時間をかけ行っていた伐採があっという間に終了してしまいました。動力機械の使用により竹林対策も効率化・少力化が可能になることが実感できました。



チェーンソーによる対策状況

今回の作業目標である、『出来る範囲で無理せず頑張る』という目標を達成したという事で、竹林対策の第1弾を終了し下山することになりました。



対策した竹林の集積



対策後の山桜



下山状況



下山状況

黒松生活改善センターに戻ると、「柴北川レディース」の方々が昼食の準備をしてくださっていました。この味に会うと、今日も柴北川へ帰ってきたという気持ちにいつもなります。業務多忙の中、共助研メンバーの矢ヶ部も合流をし、共助研より総勢9名の参加となりました。



2/27のメニュー



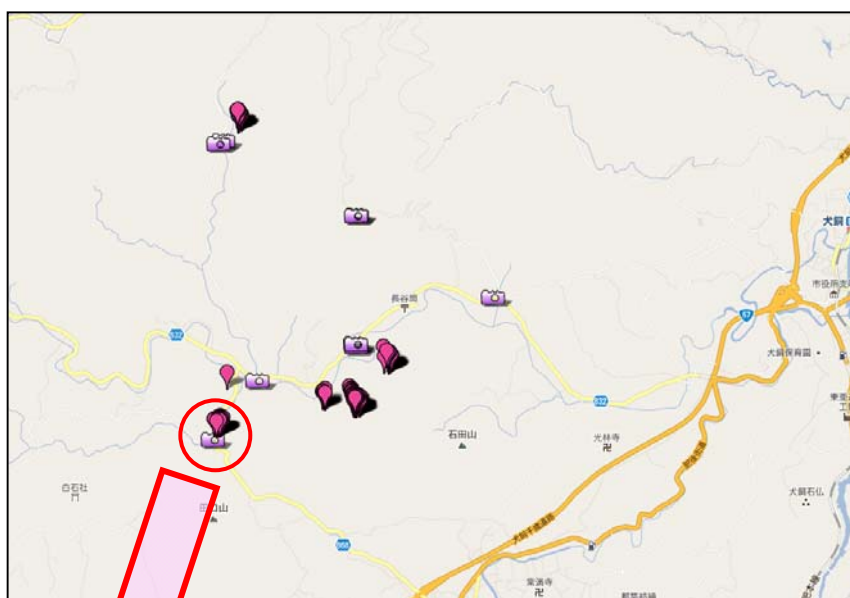
汗を流した後の皆での昼食

## 2. 柴北川の宝散策

おいしい昼食でおなかもいっぱいになり、共助研のメンバーは少しゆったりした気分のなか、竹林対策の大変さを実感しました。午後の予定は、「愛する会」の渡邊さんから共助研のメンバーの体力を考えていただけなのか、第二視点場と柴北川の宝の一つである「梅園」を案内したいとの提案を戴きました。午後は、このプランで行動することになりました。

### 2.1 第二視点場へ

まず、第二視点場にむかいました。第二視点場は、県道668号が鳴瀬川と交差する成瀬橋のたもとに位置しています。1月30日に愛する会で除草と土地の整正をされており、今回見学したところツツジが植えられていました。第二視点場の位置図を下記に示します。山桜狩りで長谷に行かれる方は参考にして下さい。





1/30 施工後の状況



2/27 の現地見学



1/30 施工後の状況



2/27 の現地見学



旧成瀬橋にて

## 2.2 花満開の梅園へ

次に、第二視点場から梅の花見に向かいました。長谷には、山桜の前に梅の花が観賞できる梅園がありました。まさに今年は今が満開であり、大分では梅では日田市大山町の梅林公園が有名ですが、長谷の梅園も見事でした。



## 2.3 黒松生活改善センターで反省会

午前中の竹林伐採活動と正反対の午後のゆったりした長谷散策を終えて、いつものように黒松生活改善センターで反省会を行いました。法面での作業の困難さ、伐採用の機械の導入、切った竹の処理方法等、竹炭にするための運搬方法等今後の活動において、まだまだ課題が山積みであることを時間させられる1日となりました。しかし、慣れてない法面での作業でしたが、誰一人怪我也なかった事が収穫かなと思われました。

(怪我ではありませんが、スギ花粉の襲撃被害を被ったメンバーが発生しました。) 今日の目標である、出来る範囲で無理せず頑張るは達成できたのかな?と思われま。また、昼食はいつものと言っては何ですが、柴北川レディースによる御馳走にありつき一同大満足な『柴北川プロジェクト 竹林格闘編』でした。



(文責：波多野)